

# News Release



本資料は 2012 年 11 月 6 日に BASF グレーター・チャイナ(中国)で発表されたプレスリリースの和訳です。

## **BASF イノベーション・キャンパス・アジア・パシフィックと BASF グレーター・チャイナ本社を開設**

**2012 年 11 月 6 日**

- 5,500 万ユーロの投資により、上海浦東(プドン)拠点を拡張
- BASF イノベーション・キャンパス・アジア・パシフィックを通して、アジア太平洋地域における研究開発活動を強化
- 持続可能な建設、省エネ照明、靴、バイオベースパーソナルケアなど各種用途向けの先端素材に注力
- グレーター・チャイナ本社の新設により、上海浦東を統合拠点に

お問い合わせ:

BASF ジャパン株式会社  
コーポレート・コミュニケーションズ本部  
麦谷英理子  
TEL: 03-3796-4865  
FAX: 03-3796-4111  
eriko.mugitani@basf.com

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)は、上海浦東(プドン)地区の拠点を5,500万ユーロの投資によって拡張し、「BASFイノベーション・キャンパス・アジア・パシフィック」を本日、開設しました。また、BASFグレーター・チャイナ本社を新設し、同拠点に移転しました。これは、BASFのアジア太平洋地域の歴史の中でも、最も重要なイノベーションへの投資となります。最終的には、従業員数は2,500人以上となる予定で、ドイツ以外ではBASF最大の拠点となります。

BASFの取締役会副会長であり、アジア太平洋地域担当取締役であるDr. マーティン・ブルーダーミュラーは次のように述べています。「アジア太平洋地域における持続可能な開発という課題において、化学がイノベーションを実現する重要な役割を果たします。BASFは、科学者や技術者、ビジネスパートナー、そして、お客様と密接に協力しながら、アジア発のイノ

BASF ジャパン株式会社  
住所: 〒106-6121  
東京都港区六本木 6-10-1  
六本木ヒルズ森タワー21 階  
TEL: 03-3796-5111  
FAX: 03-3796-4111  
<http://www.japan.basf.com>

ベーションを世界に向けて発信していきます。2020年には、世界における研究開発部門の人員の約25%をアジア太平洋地域に集約する予定です。」  
なお、2011年末時点でアジア太平洋地域の研究開発に携わる従業員の数は800人を上回っています。

BASFの取締役兼リサーチ・エグゼクティブ・ディレクター、Dr.アンドレアス・クライマイヤーは次のように述べています。「BASF イノベーション・キャンパス・アジア・パシフィックは、お客様、優秀な人材、イノベーションセンターに近い立地という点で中心的な役割を果たします。私たちBASF社員の情熱と科学を追求する精神は、BASFのフェアブント(統合生産拠点)がある他の地域にも広がり、アジアにおけるサイエンスネットワーク拡大の基礎になると確信しています。」

第1段階として、新設の「BASFイノベーション・キャンパス・アジア・パシフィック」は、17の地域のビジネスユニットから、技術部門に所属する約450人の研究開発者が集結し、アジア太平洋地域におけるBASFの強力なイノベーション・ハブとなります。各地域の市場に詳しい科学者は、国際的かつ多様な学術的なプロジェクトに従事します。また、イノベーション・キャンパスでは、地域の科学技術部門の人材開発の強化と、アジア太平洋地域の大学や科学機関との連携も促進します。今後の施設のさらなる拡張も予定しています。

浦東拠点では、研究開発者は最先端の素材と持続可能なソリューションに注力していきます。具体的には、ホームケア・パーソナルケア用途向けのバイオベースポリマーや、地域で異なる多様な気候・天候状況でも防水に対応するカスタムメイドのバインダー、省エネ照明用の熱伝導性プラスチック、靴の一部に使用される最先端のポリウレタンフォーミュレーションなどがあります。さらに、優れた分析力を持ち、材料物理学に強いチームが研究開発活動を推進します。

BASF ジャパン株式会社  
住所: 〒106-6121  
東京都港区六本木 6-10-1  
六本木ヒルズ森タワー21 階  
TEL: 03-3796-5111  
FAX: 03-3796-4111  
<http://www.japan.basf.com>

BASFグレーター・チャイナ取締役会会長、ジョニー・クワンは次のように述べています。「上海浦東拠点の総合的な拡張は、BASFグレーター・チャイナ、さらに言えばBASFの上海における歴史の中で重要な1ページとなります。当社の最大の統合拠点のひとつである浦東拠点は、BASFの社員とお客様との連携を実現する鍵となるでしょう。さらに、近隣の地域社会と密接に協力することで、国際的なイノベーション・ハブとしての上海の発展に寄与していきます。」

BASFにとって中国は、世界で3番目に大きな市場です。新設されたグレーター・チャイナ本社のオフィスには、管理や業務部門、セールス、マーケティングなどのビジネスユニットが設置され、1,500か所以上のワークステーション、快適な交流エリア、多目的シアターが設置されます。

BASFは世界全体で約70カ所の研究開発センターを構え、さまざまな分野で1万人を超える研究者が、世界中の約2,800件の研究プロジェクトに従事しています。BASFの研究開発組織は、国際的・学際的なネットワークにも組み込まれています。約1,950件におよぶパートナーシップを通じ、BASFは現在、持続可能な未来のためのソリューション開発を目指し、世界中の科学・産業分野のパートナーと緊密に連携しています。2011年のBASFの特許出願件数は約1,050件です。

#### ■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は世界をリードする化学会社「The Chemical Company」です。製品ラインは、化学品、プラスチック製品、高機能製品、農業関連製品、石油・ガスと多岐にわたっています。BASFは、経済的な成功、社会的責任、そして環境保護を同時に実現しています。また、BASFは科学とイノベーションを通して現代社会や将来のニーズを提示しながら、あらゆる産業のお客様を支援しています。BASFの製品とシステムソリューションは、資源の確保に貢献し、健康的で栄養価の高い食品を提供するとともに、生活の質の向上に寄与しています。BASFはこれらの活動を企業目標として「私たちは持続可能な将来のために、化学でいい関係をつくります」を掲げています。2011年の売上は約735億ユーロで、従業員数は約11万1,000人です。BASFの詳細な情報は、[www.basf.com](http://www.basf.com)(英語)、[newsroom.basf.com](http://newsroom.basf.com)(英語)、[www.japan.basf.com](http://www.japan.basf.com)(日本語)をご覧ください。

BASF ジャパン株式会社  
住所: 〒106-6121  
東京都港区六本木 6-10-1  
六本木ヒルズ森タワー21階  
TEL: 03-3796-5111  
FAX: 03-3796-4111  
<http://www.japan.basf.com>